

第 202 回 役 員 会 議 事 録 (要 録)

平成26. 2. 4 (火) 15:00 ~ 16:39

場 所 : 法人本部棟5F3会議室

出席者	浅原, 坂越, 岡本, 吉田, 平野 以上役員 5名
欠席者	茶山
オブザーバー	西口, 間田, 相田, 江坂, 佐藤, 富永, 平川, 神谷, 河村

(議事)

1. 教員の人件費ポイントの配分について ----- 別紙1
(平野理事(財務・総務担当), 坂越理事(平和・国際担当), 吉田理事(研究担当) 提案・説明)

平成26年度及び平成27年度の全学調整分人件費ポイントの配分について, 次のとおり提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

- ・ 平成26年度全学調整分(外国人教員採用支援分, 措置期間:平成26年4月1日~平成29年3月31日)として3.7ポイントを配分する。
- ・ 平成27年度全学調整分(テニュア教員(国際サステナブル科学リーダー育成システム), 措置期間:平成27年4月1日~当該者が准教授として在職の間)として0.8ポイントを配分する。

2. 文学研究科人件費ポイントの今後の取扱いについて ----- 別紙2
(学長提案・説明)

文学研究科所属の総合科学部併任准教授1名の人件費ポイント0.8ポイント(部局基礎分)を平成26年4月1日付けで文学研究科から総合科学研究科へ移行したい旨の提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

3. 招へい教授の選考について ----- 別紙3
(学長提案・説明)

広島大学招へい教授等規則に基づき, 医歯薬保健学研究院長から推薦のあった者に招へい教授の称号を授与することについて提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

4. 学内共同教育研究施設等における教員人事について ----- 別紙4
(吉田理事(研究担当), 坂越理事(平和・国際担当) 提案・説明)

○ 1月14日の本会議で継続審議となっていたナノデバイス・バイオ融合科学研究所の教員人事(教授1名, 任期の定めなし)における候補者の選考について提案・説明があり, 審議の結果, 人事選考委員会からの選考報告による候補者を教授として選考し, 発令手続を行うことを承認した。

○ 1月14日の本会議で継続審議となっていた平和科学研究センターの教員人事(准教授1名, 任期の定めなし)における候補者の選考について提案・説明があり, 審議の結果, 人事選考委員会からの選考報告による候補者を准教授として選考し, 発令手続を行うことを承認した。

- 1月14日の本会議で継続審議となっていた平和科学研究センターの教員人事(助教1名, 任期の定めなし)における候補者の選考について提案・説明があり, 審議の結果, 適任者なしとした。

(報告)

1. 平成26年2月1日からの運営体制について ----- 資料1
(学長報告)

平成26年2月1日付けで西谷副理事(国際担当)が副学長(国際担当)に就任することについて報告があった。

2. 学内共同教育研究施設等における教員人事について(再任) ----- 資料2
(坂越理事(教育担当)報告)

外国語教育研究センターの教員人事(講師1名)について, 人事選考委員会における業績評価を踏まえ, 教育・国際室運営会議等において審議した結果, 再任を認めることとした旨, 報告があった。

3. 時間外労働及び休日労働の実績について ----- 資料3
(平野理事(財務・総務担当)報告)

平成25年12月における時間外労働及び休日労働の実績について報告があり, 引き続き時間外労働等の縮減に努めることとした。

4. 広島大学特別研究員について ----- 資料4
(吉田理事(研究担当)報告)

平成26年度広島大学特別研究員公募要領について説明があり, 今回から若手研究人材養成センターが実施するプログラムと統合した制度とする旨の報告があった。

5. インターネット出願の導入について ----- 資料5
(坂越理事(教育担当)報告)

平成26年度実施の「平成27年度入試」から, 学士課程の一般入試, A0入試, 推薦入試, 私費外国人留学生及び一部の編入学試験においてインターネット出願を実施する旨の報告があった。また, 入学検定料のオンライン決済(クレジットカード決済等)やオンライン成績開示システムも同時に導入予定であり, 平成28年度実施の「平成29年度入試」から完全実施とする旨併せて報告があった。

6. 役員会における継続検討事項について ----- 資料6

担当理事から, 次の検討事項の進捗状況について報告があった。

- ・ 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムの専攻化の検討
- ・ マレーシア校友会及びミャンマー校友会の設立
- ・ 大学院生の居室の格差解消及び確保策の検討

また、担当副学長から、次の検討事項の計画作成後の実施状況について報告があった。

- ・ 自動書庫導入に伴う人員削減計画の作成

7. 各室報告 ----- 資料7

各担当理事及び副学長から、各室の課題に関する進捗状況等について報告があった。

(意見交換)

1. 平成26年度政府予算（案）から申請が想定される事業の概要と今後の方向性について
(相田副学長（大学経営企画担当）説明)

平成26年度政府予算（案）資料に基づき、大学として申請が想定される11事業に係る申請に向けた検討の方向性について説明があった。また、今後もさらに情報収集を行い、申請準備を行う予定である旨、報告があった。

以上（資料添付略）